



ロータリーは機会の扉を開く
2020-21 年度 RI テーマ
Rotary Opens Opportunities
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーウ

Weekly Bulletin

30th anniversary

藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

例 会 第 1 3 8 9 回： 通常例会/小杉苑

ソング われら日本のロータリアンの歌、おお牧場はみどり：ソングリーダー 阿井誠君

原点回帰

■ 会長挨拶 松浦正秋君



今週 2 つのニュースが気になりました。1 つ目は、小売りとネットの融合加速というものです。アメリカの投資ファンドと楽天がスーパーの西友に 8.5% 出資するという内容です。楽天は楽天市場という電子商取引を展開しています。生鮮などの食料品販売を取り込むことを目論んでいるようです。ネット上の展開する金融・携帯電話等のサービスを実店舗と連携してサービスの拡充を図るとしています。今まではお互いを競合相手と見ていたネットとリアルの企業連携の動きはアメリカのアマゾンや中国のアリババ等も始めています。コロナ禍を機に大きな変革が起こり始めています。地方に住み、事業を営む者でも大きなトレンドを感じながら次の展開を模索していくことが重要だと感じました。

2 つ目は、伝統建築工匠の技が無形文化遺産になるというものです。文化遺産とは、遺跡や建造物のようないわゆる有形の文化遺産と伝統的な音楽、舞踊、演劇、工芸技術といった無形の文化遺産とがあります。無形の文化遺産は、グローバル化の進展により、世界各地で消滅の危機に瀕しており、有形の文化遺産や自然遺産に加え、保護さ

れています。今回の登録の対象は、木造建造物、茅葺、屋根瓦葺、建造物塗装など木造建造物の修理にかかわる 17 件の技術です。

最新の技術を活かした変革の動きと過去より受け継がれた技術の継承という 2 つの話題に接し、不易流行という考え方を持つことの重要性を感じた今週です。

報告：早川さんの黄綬褒章受章祝賀例会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、延期としました。

■ 幹事報告 鈴木健夫君

ハイライトよねやまを回覧いたします。

■ 出席報告 笠原大輔君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
43 / 51 84.31%	44 / 51 86.27%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 江崎君 ○加藤君 ○内藤君 ○淵脇君 ○村松章隆君
- 富澤静君 内山君 川口君

(2) メイクアップ者

富澤静雄君 (掛川)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
47	46	1	16

パーフェクト例会数 😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX

笠原大輔君

- ・叙勲のお祝いありがとうございました。記念に祝儀袋だけ頂戴しました。 小林正敏君
- ・ 私こと
この度 令和二年 秋の褒章に際し はからずも黄綬褒章を拝受する榮譽に浴しましたところ早速ご懇篤なるご祝意を頂戴致し誠にありがたく厚く御礼申し上げます
お陰をもちまして 章記 褒章の伝達を受けました
これも偏に皆様方の温かいご指導ご支援の賜ものと深く感謝申し上げます
今後はこの榮譽に恥じることはないよう一層精進致す所存でございますので何卒相変わらぬご厚誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます
早川清人君

スマイル累計額 396,000円

■ 会員卓話

早川清人君



私は、平成3年5月28日開催の藤枝南ロータリークラブ創立総会に参加させて頂いていたメンバーの一人です。

思い起こせば、RI 認証前のオリエンテーションや仮例会にも参加したのですが、当時私は33歳の最年少での入会であり、周りの方々が全て年の離れた人生の大先輩方と云うことで、その方々に囲まれながらの集会は嬉しさと不安で胸がはちぎれる思いであったことを記憶しています。

その後1年程して私より1歳若い村松和久君が32歳で入会され年下の会員ができたと思安堵していたのですが、程なく退会されてしまい、その後、私の最年少状態は暫く続くこととなりました。現在は笠原大輔君が最年少の44歳ですから、33歳

入会がいかに若かったのかがご理解頂けると思います。

それでも、例会や他イベントの際には、会員の皆さんにはお気遣い頂き、楽しい時間を過ごしながら現在に至っていることは幸せであると実感しています。

そして、私にとって、ロータリークラブは単なる仲良しクラブではなく、職務上の指針を示してくれる勉強の場でもあり、精神的支えと云えるものでもありました。ロータリーの教えの中に、「ロータリアンは、各地域の職業の代表者（リーダー）であり、その意識を常に持ち続けなくてはいけない。」とあり、私は、この言葉に導かれながら仕事に従事してきたように思います。そして、ロータリークラブに所属していることが私のプライドとなり、それが業界での活動の源動力になっていたと痛感しています。業界内で33歳と云えば若造の中の若造と云ったところですが。その若造が「職業の代表者」のフレーズをずっと胸に刻んでいたからこそ、年を経て静岡県司法書士会会長、日本司法書士会連合会常任理事、法テラス本部審査委員等の役職を歴任できたものと思います。静岡県の業界内で初めて務めたという役職が多かったことも同様であり、例えば、最年少で静岡県司法書士会会長を務め、また、県司法書士会の上部組織の役員や全国組織の司法関連外部団体の本部役員等は県内で最初の就任でした。ロータリークラブにいて、ロータリークラブにいるからこそ今の私があると云っても過言ではありません。

ちなみに、静岡県司法書士会の会長に立候補を決意したときは富澤初代会長に相談申し上げたのですが、その際には信頼できる選対を十全に整え、支持者を取り込む術を詳細に教授頂くなどの確なご指示を頂いたことは今でも忘れることはできません。

その後、私は2013-2014年度に藤枝南ロータリークラブ第23代会長を務めさせて頂きました。その時の幹事は、現会長の松浦正秋君でした。

この幹事が素晴らしく出来た男で、例えば会長挨拶では、嫌な顔をせず私に言いたい放題の時間を確保してくれました。通常3-5分程度のところを時として10分喋らせてもらったこともありましたが、文句一つ言われたことがなく、自由に時間を使わせてもらいました。会長挨拶で話した内容は、私が興味を持っている古事記を中心とした日本神話（古代史）についてやその他職務上で

の法律の話でした。日本神話の話などは、本来喋る機会などないものであることから、良い機会を頂いたものと思っています。ただ、帰宅して家内にその話をするたびに「歴史って、誰でも興味を持っていると思ったら大間違いだ！」と叱責されたものでしたが・・・そして、ロータリー事業の諸事務は全て完璧なまでに仕切ってくれ、私は楽な思いで一年を過ごさせて頂きました。

今でも私は楽しくロータリーライフをエンジョイしています。これは、会員の皆さんの寛大なる友情に甘えながらであり、深く感謝しているところです。

今後ともよろしくお願い致します。

以上、雑駁な話に終始してしまいましたが、ご清聴ありがとうございました。

当時の日本と、30年は遅れてると思いました。今の上海を想像できません。

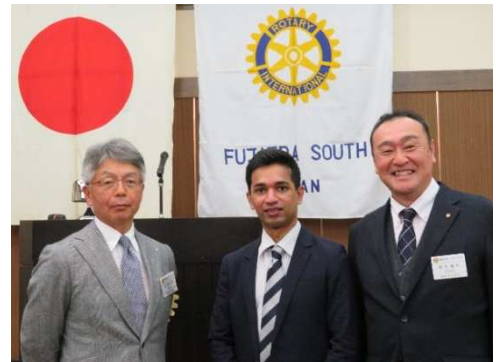
何はともあれ、人民には、熱烈歓迎され楽しくサッカーをやれたことは、自分の財産になったのではないかと思います。

中華のパワーに負けないようこれから自分も頑張っていきたいと思います。

有難うございました。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/27(金) 第 1390 回	会員卓話	小杉苑
12/4(金) 第 1391 回	年次総会	理事会
12/11(金) 第 1392 回	会員卓話	小杉苑
12/18(金) 第 1393 回	会員卓話	小杉苑



今週の一言

中村博史君



初めての海外旅行が、小学5年の時でした。サッカーの代表として、中国の上海へ行きました。今から、40年近く前です。

当時の中国は、日中の国交が樹立して間もないころということと、共産主義国家ということで、子供ながらに感じるどころがありました。行ってみると、人民の数に圧倒され、また日本との文化の差に驚きました。